

製品名: CKR-1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08866

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CCR1 CMKBR1 CMKR1 SCYAR1 C-C chemokine receptor type 1 (C-C CKR-1;CC-CKR-1;CCR-1;CCR1;HM145;LD78
別名	receptor;Macrophage inflammatory protein 1-alpha receptor;MIP-1alpha-R;RANTES-R;CD antigen CD191)
遺伝子 ID	1230.0
SwissProt ID	P32246
免疫原	アミノ酸配列範囲: 151~200 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

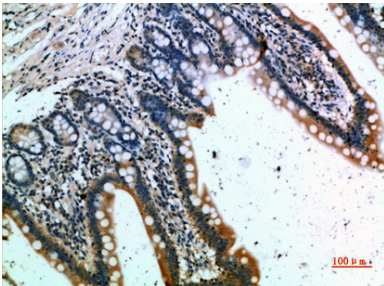
背景

この遺伝子は、Gタンパク質共役受容体に類似した7つの膜貫通タンパク質であると予測される、 β ケモカイン受容体ファミリーのメンバーをコードしています。この受容体のリガンドには、マクロファージ炎症性タンパク質 1 α (MIP-1 α)、活性化制御性正常T細胞発現・分泌タンパク質 (RANTES)、単球走化性タンパク質 3 (MCP-3)、骨髄前駆細胞阻害因子 1 (MIPF-1) などがあります。ケモカインとその受容体を介したシグナル伝達は、エフェクター免疫細胞を炎症部位に動員するために不可欠です。マウスホモログのノックアウト研究では、この遺伝子が炎症反応からの宿主防御、およびウイルスや寄生虫に対する感受性において役割を果たしていることが示唆されました。この遺伝子と、CCR2、CCRL2、CCR3、CCR5、CXCR1などの他のケモカイン受容体遺伝子は、染色体3p上で遺伝子クラスターを形成することが分かっています。[RefSeq提供、2008年7月]機能: C-C型ケモカインの受容体。MIP-1 α 、MIP-1 δ 、RANTES、MCP-3に結合し、MIP-1 β またはMCP-1にも結合するが、結合効率は低い。その後、細胞内カルシウムイオン濃度を上昇させることでシグナル伝達を行う。幹細胞の増殖に影響を及ぼす。、オンライン情報: CCケモカイン受容体のエントリ、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、組織特異性: 様々な造血細胞で広く発現している。、

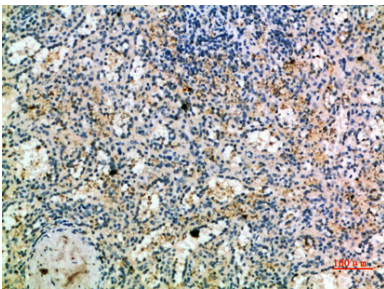
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された。